



建交労

2021年11月12日 No.11
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

2021年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

交運共闘中央行動 交通運輸産業労働者の切実な声 3省へ署名約12,000筆を提出



交運共闘（交通運輸労働組合共闘会議）は11月11日、中央行動を実施しました。

行動では、この間に交運共闘の各組織でとりくみました3省宛の個人請願署名を各省あたり約12,000筆提出しました。

行動は、午前10時過ぎに国土交通省前集会から始まりました。秋晴れの朝、11月中旬とは思えぬやや暑い日差しが照りつける中、建交労や自交総連、国土交通労組、検数労連など交運共闘の各組織の代表者が約50人（うち建交労は14人）集まりました。例年ならば秋の中央行動に併せてとりくまれ、国交省前を一千人前後の仲間で埋め尽くされますが、コロナ感染予防として今秋も代表参加のみとなりました。しかし、各労組が全国から集約し国交省前に持ち寄った個人請願署名が積み上げられていました。

交運共闘の代表が、個人請願署名の趣旨を読み上げ、参加者は、それぞれに請願署名を抱え、国交省に提出しました。両手に抱えた署名用紙の束の重さは、仲間たちの困難な現状の改善を求める切実な願いを感じさせます。

続いて、厚労省、経産省へと巡り、それぞれの省へ請願署名を手渡していきました。

中央行動は、建交労副中央執行委員長でもある相木伸之交運共闘副議長の音頭による団結がんばろうで終了しました。

今回、建交労内で集約した個人請願署名は、国交省 5,419 筆、厚労省 5,364 筆、経産省 5,357 筆です。全国の仲間の皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。



同日に建交労軽貨物ユニオンと全国トラック部会が省庁交渉等を実施しています。それぞれの内容は雑誌等でも紹介します。